

1カ所当たりの配送料は  
267.8円



広報さっぽろは、原則として、町内会やマンション管理組合などを通じてお届けしています。配送業者は、印刷会社から広報さっぽろを受け取り、毎月三日までに、町内会などの配布協力者のお宅にお届けしています。

### 3 配 送

かの市町村と比べると、発行形態はそれぞれ違いますが、一冊当たりの経費はトップクラスです。  
カラーページ部分を二色にした場合は、一冊当たり約四二・七円に下がります。また、カラーのまま四ページ増やすと、一冊当たり四九・八円と、一割以上高くなります。

配布をお願いした町内会などに対する、広報誌の配布謝礼です。全世帯に配布していますので、一カ月の費用は、約一千万円になります。

13円  
一冊当たりの配布謝礼は



配布協力者の皆さんには、毎月十日までに各ご家庭へ配布するようお願いしています。

### 4 配 布

印刷会社から、町内会やマンション管理組合などの配布協力者のお宅に、広報誌を運ぶための費用です。配送業者からの配送先は市内に約四千七百カ所。この配送に掛かる費用は、一カ月で約百二十六万円になります。

### 5 家 庭



各ご家庭には毎月十日までに届くため、十一日（二月号のみ一月一日）以降の情報を掲載しています。さて、今月号で、目を引いた記事は何でしょうか。

※内容、数字などは、平成十四年度のもので、消費税を含みません。ここに挙げた項目以外にも、職員の人件費などの経費が掛かっています。  
また、広告の掲載により、毎月約六百万円の収入を得ています。

## 表紙のは・な・し

冊子スタイルになった昭和35年4月号からこれまでずっと、広報さっぽろの表紙を飾ってくれているのが、小学生の工作や絵です。市内の先生たちによる研究団体である札幌市教育研究協議会図工部会の協力の下、10区持ち回りで制作してもらっています。

撮影スケジュールの関係で、作品の制作は前々月。夏に秋の作品を作らなくてはいけないなど、季節感を出すのに、子供たちや先生の苦労は絶えません。こうして作られた作品は、子供らしさの中にも一生懸命さが伝わってくるものから、ち密な計算による完成度の高いものまでさまざま。毎月私たちの目を楽しませ、心を和ませてくれています。

### ③ 厳しい財政状況への対応

ご覧いただいたように、広報誌を制作し、全世帯へお届けするには、多額の経費を要します。しかし、今後、市の財政状況は、一層厳しさを増すことが見込まれ、可能な限り経費を削減していかなければなりません。限られた財源の中で、より効率的な広報誌づくりを進めていく必要があります。

冊子と同じものをホームページに載せています。しかし、パソコンなどの端末があれば、いつでもどこでも最新の情報を入手できるという、インターネットの特性を生かしていきたいです。今後さらにITの日常生活への浸透が予測される中、広報さっぽろも、それを前提としつつ、より効果的な活用を考えていく必要があります。また、大量の紙を消費する広報誌は、環境への負荷を減らすという観点からも、見直しが求められます。